

地形・地質

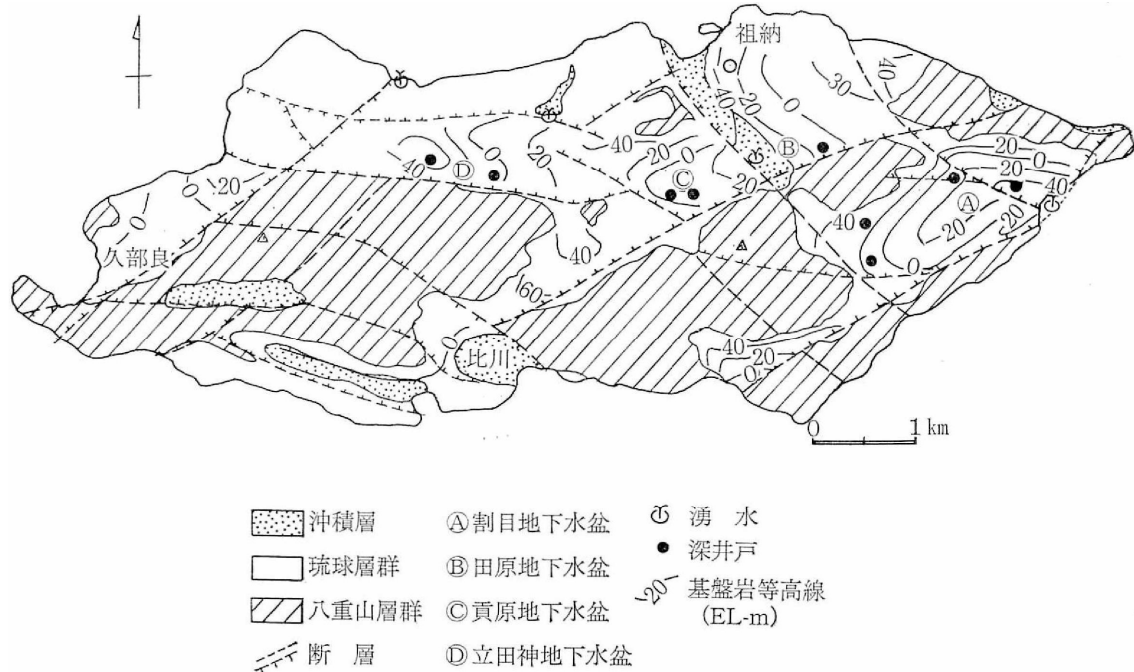
与那国島は最西端の島で、面積が28.5km²です。地形は起伏に富んだ中央山地とその周囲に広がる台地からなり、島内には数条の断層地形がみられます。地質は八重山層群が山地や琉球層群の下位に広く分布し、水文地質上の基盤岩となっています。

与那国島の地質層序表

地 質 代	柱状図	地 層 名	層厚 m	岩 相 そ の 他	
第 四 紀	完新世	砂 丘 砂 層	6~7	有孔虫砂~石灰質砂	
		沖 積 層	5-	有機質土~海浜砂よりなり低地面に分布	
	更新世	琉球石灰岩Ⅱ	琉球層群	10-	標高5~10mの段丘面に分布、上部は礁性石灰岩、下部は礫層
		宇 良 部 層		1~23	八重山層群の砂、礫を主体とする地層
新 世	琉球石灰岩Ⅰ	80+	台地の主部を構成する地層で、上部はサンゴを主体とする礁性石灰岩、下部は碎屑性石灰岩よりなる未固結の地層		
	ドナン岳層	30±	主として黄褐~黄灰色の淘汰のよい砂層		
第 三 紀	中新世	八 重 山 層 群		細~中粒の砂岩優勢層で頁岩との互層もみられる	

地下水

琉球層群・沖積層・砂丘砂層が帯水層で、八重山層群が基盤岩である。琉球層群のうち琉球石灰岩は、この島の主要な帯水層です。



与那国島の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）